

各務原商工会議所と岐阜大学が遊休農地にて農作業を実施

<岐阜県>

市町村・集落の名称	各務原市
協働の相手（企業や大学等）の名称	各務原商工会議所、岐阜大学
仲介者・コーディネーターの名称	各務やさいプロジェクト実行委員会
協働のポイント	地産地消で各務原キムチの材料の供給と各務野やさいブランド化のための実験圃場の管理をすること。
協働のきっかけ・経緯	実験圃場の管理をするため、各務野やさいプロジェクト実行委員会が、各務原市内から農作業ボランティアを募集（平成20年9月広報紙にて）し、16名の参加が決まる。
取組の具体的な内容	市内鵜沼各務原町の畑（90a）の一部（10a）を実験圃場として借り受け、その農作業支援ボランティアを実施する。
農村地域への効果	都市の中の遊休農地を利用し、地域特産品（各務原キムチ）の原料を供給する。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	地産地消による野菜生産への協力によって、地域への協働参画を行う。
仲介者等の役割	市内の遊休農地とボランティアとの人材交流を行う。
今後の課題	野菜作りの目標達成、農地・作業・生産物の利用方法。
関連事業（国・都道府県等）	地産地消事業